

第52回小学校代表者研修会

ノンクリスチヤンに
十字架の何を、どのように伝えるか

青山学院大学宗教主任 塩谷直也

入る言葉、集中できない
故に右から左に抜ける
話、聴くとば、人間の自
由にならないものであ
る。言葉も同じで、身
体の中に入れば、姿勢をお
こすことになる。

伝道者が福音を伝える
ことは、十字架を伝える
ことであるがこれが難し
い。教訓や道德の方が伝
えやすいように感じる。
十字架の縦の部分は、
苦しみとは何か、愛する
とは何か、贖罪を教える
わけだが、十戒の第8戒
の「盗むはならない」

も失敗した、だからあな

どに考へさせられる。

「あれにするために

ために皿を洗つ」を比べ
(文責・飛田浩昭)

ておればわかるが、手段

と目的が別になれば不純

なことになる。「このた

めに」とするの手段と

目的が致するように努

めることが必要である。

罪悪感は、神への償金

だから、その借金を返す

ためにとする」の手段と

も安心して失敗しなさ

ないよだな。

まだ、青山学院の法人を

代表し、山口雅司常務整理

事から、手帳があつた。

その後、会議室に場所

を移し、青山学院大学宗

教主任である塩谷直也先

生から「ノンクリスチ

ヤンに十字架の何を、どの

よう伝えるか」という

題で講演を行つた。

今回の講演をうながす

するかを小学校部会議

で話し合つてたとき

に「基督教にもわかる

キリスト教」という話を

過去に聴いた委員の一

人から塩谷先生のお話を

が挙がつた。私どものキ

リスト教主義学校は、ク

リストの先生たどり、

立たないし、どうだな

い方々の思いだけでは建

て動いてる。クリスチ

ヤンの先生方の想いが成

り立たないし、どうだな

い方々の想いだけでは建

て動いてる。クリスチ

ヤンの先生方の想いが成

り立たないし、どうだな

教育同盟100周年を迎えて



2010
キリスト教学校教育同盟
100周年

本同盟はいよいよ今年
100周年を迎えたこと
になりました。そこで1
00周年を記念して同盟
としてどのような計画が
あるか顧みて紹介して
いたいと思います。この
企画について現在決まり
たものをお話しします。

記念事業の柱は、

①『キリスト教学校教
育同盟百年史』の編纂

②100周年記念式典

『百年史』編纂につい
てはすでに10年近く前
に編纂委員会が発足し
て、編纂の地道な活動が
続けられてきました。2011年2月の発行を目指
して現在最後の詰めの
作業が急ピッチで進めら
れています。

100周年記念式典は
今年1月26日(火)午前
10時30分から12時まで東
京・池袋にある立教大学
キャンパスのタッカーホ
ールを会場として開催を
予定しています。

この記念式典は全国
の加盟法人より、理事
長、院園長、学長、校
長等、約500名が出席
をしていただいていると見
込んでおります。この式
典参加費は例年の同盟総
会や学校代表者協議会の
参加費より若干高くなり
ますが、これは音楽鑑賞
会の遠隔による学校の参
加者への交通費補助など
であります。近く各加
盟法人に出席者の数の割
合をお知りせしむる予定で
てあります。

送りし、それを各校が自
由に使うジオラマを作成
してお知らせする予定で
います。

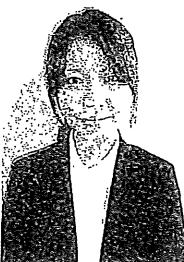
展示してもらう方法で
います。

田中弘志
(女子学院院長、同盟広
報委員会委員長)

記念事業実行委員長

100周年記念ロゴマーク応募者

ロゴマーク作者紹介



中村友美さん

(活水女子大学健康生活学部
生活デザイン学科2年生)

佐賀県のご出身。大学に入学して初めてキリスト教に触れたが、パイオルガンとともに歌う讃美歌が好きで、今は礼拝の時間が自分にとってしきりきているという大学2年生。自分の作品が採用されることになってとてもうれしいと素直に喜びを表現しつつ、ロゴマークに込めた思いを次のように語ってくださった。

「まず思い浮かべたのはヨハネによる福音書の『活ける水』。十字架のモチーフを背景に水と命をはぐくむ地球を円で表し、そこにACSJの文字を組み合わせた。水玉が大から小へと変化することでリズム感を表現した」

100周年を期して「躍動するキリスト教学校教育同盟」であったことと願う私たちの思いにもつながるこのロゴマークが決まったことを感謝している。(広報委員会)

100周年記念ロゴマーク応募者

※() 内は関係法人名、敬称略、順不同

押川万義、ウィリアム・E・ホーリーが中心

となり、富城学院が創立され、初代校長に工

リザベス・R・アール

ボーグが就任したのは、

1886年。本年、官

城学院は創立124年

を迎えます。現在、富城学院は、

附属幼稚園、中学校、

高等専門学校と大学

院からなりています。

その富城学院女子大学

は、以来富城学院に

人を養成する「神の愛

の光」と讃美した民主主

義が、「神の愛され、隣

人に愛される」のスクリ

プトは、1942年8月25日

時代は、第二次世界大

戦の真っ只中。世界中

の人々が明日をも知れ

ぬ絶望的な日々を送る

城学院女子大学と大学

院は、これまで、常に

高い学術水準を保ち、

豊かな人間性を育む

教育を実践してきました。

それが、これまで、常に

高い学術水準を保ち、

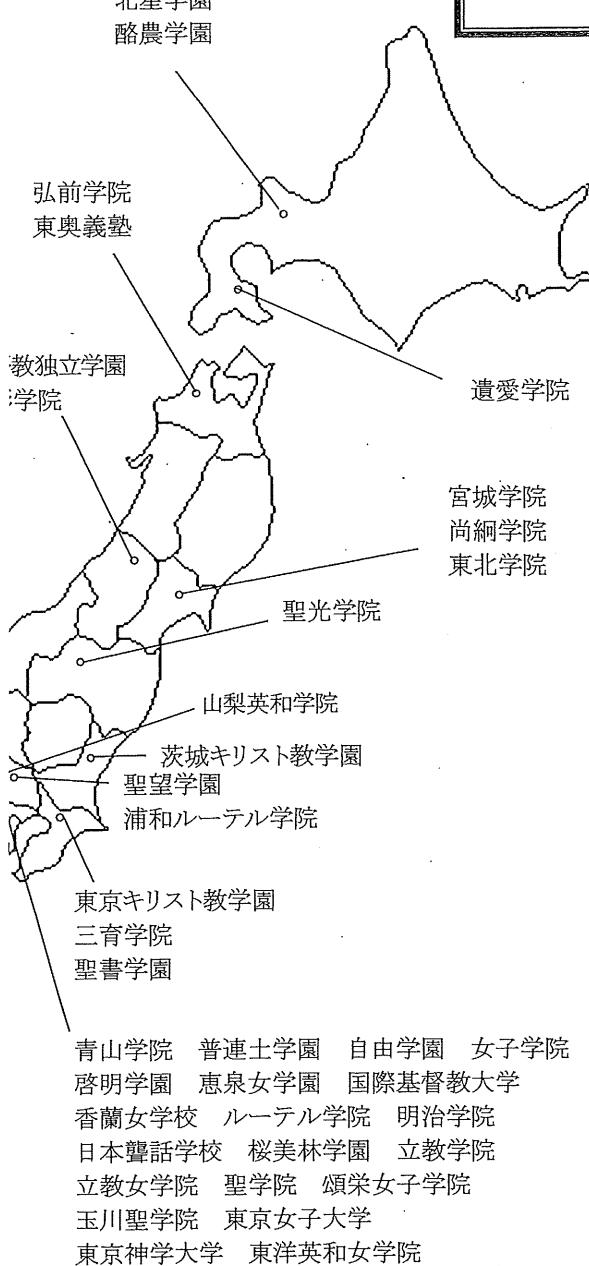
豊かな人間性を育む

キリスト教学校教育同盟

Association of Christian Schools in Japan

加盟学校法人分布表

(2010.3.31 現在)



東北・北海道地区 (11 法人)

北海道 遺愛学院 北星学園 酪農学園
青森 弘前学院 東奥義塾
宮城 宮城学院 尚絅学院 東北学院
福島 聖光学院
山形 基督教独立学園 山形学院

関東地区 (44 法人)

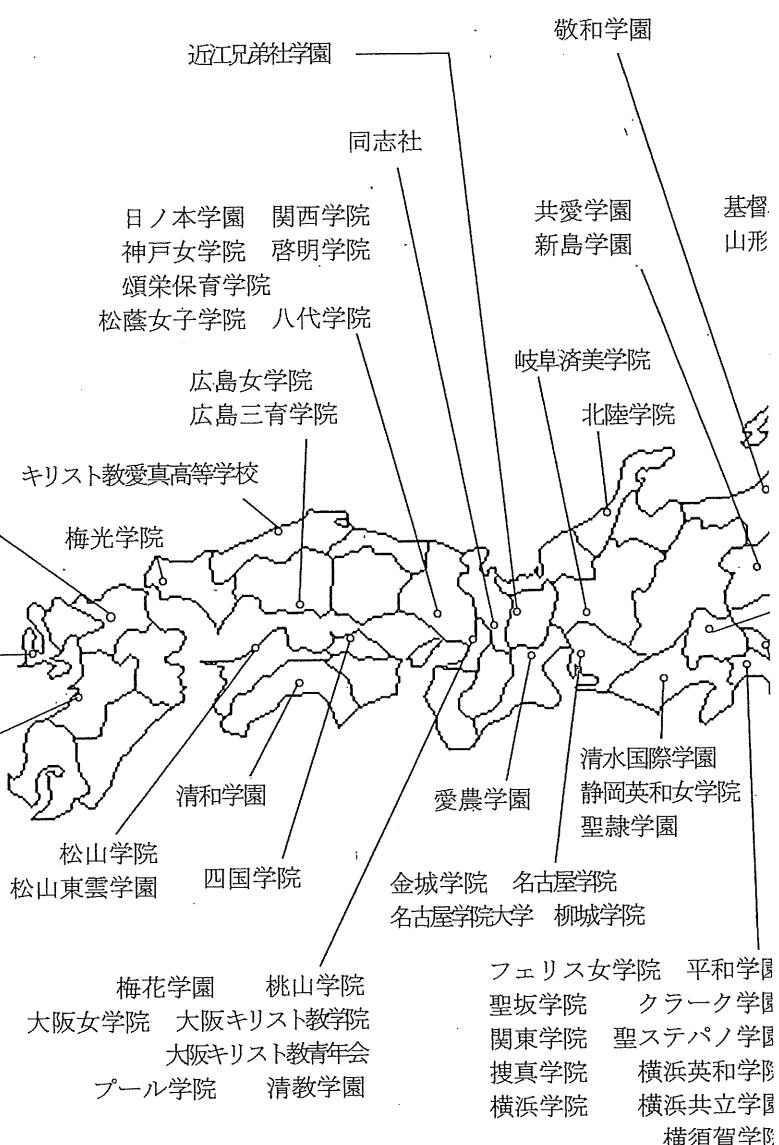
東京	青山学院	普連土学園	自由学園
	女子学院	啓明学園	恵泉女学園
	国際基督教大学	香蘭女学校	
	ルーテル学院	明治学院	日本聾話学校
	桜美林学園	立教学院	立教女学院
	聖学院	頌栄女子学院	
	玉川聖学院	東京女子大学	
	東京神学大学	東洋英和女学院	
神奈川	フェリス女学院	平和学園	聖坂学院
	クラーグ学園	関東学院	聖ステパノ学園
	捷真学院	横浜英和学院	
	横浜学院	横浜共立学園	横須賀学院
埼玉	聖望学園	浦和ルーテル学院	
千葉	三育学院	聖書学園	東京キリスト教学園
茨城	茨城キリスト教学園		
群馬	共愛学園	新島学園	
山梨	山梨英和学院		
静岡	清水国際学園		
	静岡英和女学院	聖隸学園	
新潟	敬和学園		

関西地区 (30 法人)

愛知 金城学院 名古屋学院
名古屋学院大学 柳城学院
三重 愛農学園
岐阜 岐阜済美学院
石川 北陸学院
大阪 梅花学園 桃山学院 大阪女学院
大阪キリスト教学院 大阪キリスト教青年会
プール学院 清教学園
京都 同志社
滋賀 近江兄弟社学園
兵庫 日ノ本学園 関西学院 神戸女学院
啓明学院 頌栄保育学院 松蔭女子学院
八代学院
島根 キリスト教愛真高等学校
広島 広島女学院 広島三育学院
香川 四国学院
愛媛 松山学院 松山東雲学園
高知 清和学園

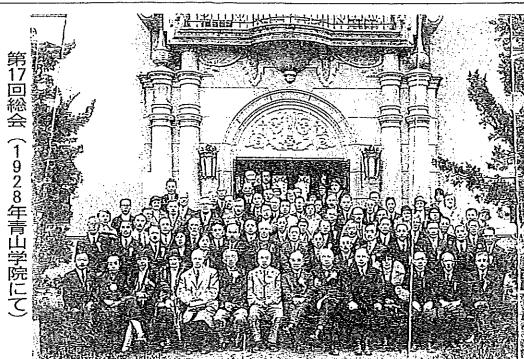
福岡女学院
折尾愛真学園
西南学院
西南女学院
鎮西学院
活水学院
長崎学院

九州学院
九州ルーテル学院



西南地区 (12 法人)

山口 梅光学院
福岡 福岡女学院 折尾愛真学園
西南学院 西南女学院
長崎 鎮西学院 活水学院 長崎学院
熊本 九州学院 九州ルーテル学院
沖縄 沖縄キリスト教学院
沖縄三育学院



第17回総会(1928年青山学院にて)

1910年

加盟校=97学校法人(本部会理事20名、監事2名)
地区協議会=東北・北海道地区、関東地区、関西地区)

決議機関=総会(例年1回6月開催)、および理事会(例年5月開催)

紙4~5面の加盟法人分
布地図を「跨ぐださ」

会員登録料=20円(年10回)、同
育行(年10回)、同

部会=教職員後輩者養成
部会=教職員後輩者養成
部会=聖書科部会、小学校部会、中高部会、高等教育部会

聖書・礼拝を中心とする
キリスト教学校について
は存立若びやかす政府
の圧迫があった。

キリスト教教育を続け
ることば、各種学校の取
り扱いとなり、それによ
つて上級学校への進学や
従業等の特典を失うこ
とになる。それは男子校
にとってはある意味で死
活の問題でもあった。し
かし、各校はさらに密
接な連絡を取り合い、そ
の特典を捨てても、キリ
スト教教育を守ることに
徹した。

一方その間にあって本
多庸一(よしつつ)、青
山学院院長、井深穂之助
明治学院院長などが文
部省に訓令の撤回や適用
除外の運動をし続けた結果
1901年(明治34年)5月、前述の上級学校へ
の進学・従業猶予等の特
典を回復することができ
た。

「文部省訓令第12号」
1913年

女子校の結束・協力=20
校が「女子基督教教育
会」を組織した。

「文部省訓令第12号」
1939年

は女子校にも打撃を与えた。
た。その当時、全国にあ
った38校のキリスト教女
強國な組織をめざして一
府の干涉、多くの犠牲一
時代は第二次世界大戦

わが校の ワントピント アピール

女子学院と矢嶋楳子



女子学院は一般的に「自由な校風」の学校といわれています。その「自由な校風」を支えているのは、明治時代の院長・矢嶋楳子の「あなた方は聖書を持っています。だから自分で自分を治めなさい」という言葉といえます。

楳子は1833(天保4年)現在の熊本の益城(ましき)町に生まれました。矢嶋家は代々郷土の家柄で、父直明は惣庄屋兼代官を務めた地方名望家で、楳子の兄直方は幕末の思想家・横井小楠の門下でした。昨年11月には九州全県で、テレビ熊本制作の「四賢婦人 矢嶋楳子とその姉たちへ女性の扉を開けた信念の人」という番組が放送されました。

テレビ番組のタイトルになった「四賢婦人」とは楳子を含む次の4人の姉妹たちで、三女・竹崎順子は1889(明治22年)、熊本高等学校(現・熊本フェイス学院高等学校)を創立。四女・徳富久子は徳富蘆花の母。五女・横井つせ子は、横井小楠の妻。そして六女が楳子です。出身地の益城町には「四賢婦人の記念館」と「碑」があります。

楳子は25歳の時結婚しますが、洒落の夫で、今までDVのため実家に逃げ隠れ、迎えにきた本人に自分の黒髪を切って紙に包み出し、妻の方から離縁を宣言するという、当時としては考えられない行動をとりました。そして40歳の時、民部省に勤めていた兄の看病のため上京し、教員免許状を取り、小学校で教員始めます。その後、養女として迎え育てるという経験もします。作家の三浦綾子は、楳子の生涯を描いた小説『わかれ弱ければ』と題し、この経験がその娘の楳子の活動に大きな影響を与えていました。

1878(明治11年)年に婦人宣教師のミセス・ツルーとの出会いにより、キリスト教に導かれ、女子学院の院長まで務めることとなります。そして、発足当時、禁酒を訴える団体であった日本キリスト教婦人矯風会を立ち上げたのも、自分の経験に因るところが多いと思われます。矯風会は現存する最古の婦人団体であり、現在ではDVのシェルターの活動なども行っています。

このようにキリスト教と出会い、明治の女性のため、教育の分野、そして社会運動の分野で活躍した源となつたのは、先の「あなた方は聖書を持っています」の言葉にあるように、まさしく聖書であり、そしてこの言葉は自らを律するするために、楳子自身に向けられた言葉なのかもしれません。

梶原恵理子(女子学院中学校・高等学校司書教諭)

新任教員のみなさんへ

キリスト教学校 教育同盟とは?

盟主一ページの管理
⑤夏期研究会
⑥事務職員夏期学校
沿革

1899年
誕生まで「宗教教育を禁じた政府の圧迫を契機に

明治の10年代、キリスト教学校は近くのキリスト教学校と協力して活動を始めたが、日本は日本の教育に貢献して

いた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

ミス・アーヴィング(神

戸女学院長)等が中心と

り、本同盟から脱离する

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

坂正信(青山学院長)

は当然、キリスト教教育

は強いて強い干涉であ

る。ミシショーンから

互いに交流をはかつてい

たが、さらに強力になる

ための合同については男

子は積極的だったが、女

子は絶えず異議を唱え反

対していた。しかし、石

わが校の ワンポイント アピール

演習林実習



愛農学園
神を愛し、人を愛し
土を愛する——本校の理念



春の田植え

本校は、創立以来「神を愛し、人を愛し、土を愛する」三愛精神を教育の基本としてきた。具体的には次の3点である。

(1) 聖書による人格教育

本校の創立者小谷純一は、ことあるごとに「農業者たる前に人間たれ」と語ってきた。人間たれとは、良心の目覚めた人間であれということで、それには聖書が最適のテキストであるという確信をもっていた。この基本を守るために聖書を教育の基本に置いていた。

(2) 全資制教育

若いときに親元を離れ、寮生活を送りながら、互いに切磋琢磨し、基本的生活習慣と自立心を養うことは人生にとって大きな意味がある。またそこで与えられる友情は人生の宝になる。「隣人を愛しなさい」という聖書のことばを実践的に学ぶのが寮生活である。

(3) 農業教育

自然に働きかけて食べ物を生産する農業は人間にとって基本的な仕事である。農業を通して社会に貢献してほしい。

いと願って、安全でおいしい農産物を生産するための有機農業教育に力を点を置き、その基本になる「土作り」や健康な家畜飼育に取り組んでいる。

以上の3つの柱を基本として、次の4点を具体的な目標として教育活動を行っている。

- ① 農業・食料を守る。(農業を守り、食糧生産を担う若者を育てるのが本校の最も大切な目標である。)
- ② 地域を守る。(限界集落といふことに象徴されるような、存続自体が危ぶまれる農村地域を守る人材を育てることも本校の大きな使命である。)
- ③ 環境を守る。(温暖化に代表される地球環境の危機に対して、本校は有機農業の実践を柱として、環境にやさしいエコロジー教育を実践している。)
- ④ 平和を守る。(聖書に「剣をかえで鍔となす」という言葉があるが、農業を通じた外国との交流や、修学旅行・留学生の受け入れ等によって平和教育に力を入れている。)

奥田信夫(愛農学園農業高等学校校長)

キリスト教教育の意味と魅力

キリスト教学校教育懇談会 第7回公開講演会を開催

本紙1自景で概要既報
の日本カトリック学校

連合会と、キリスト教

組織

の講師による講演のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会理事長、ラジオ

・ド・ノートルダム理事

・桜の聖母学院学院

司会のもと、河合恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会理事長、ラジオ

・ド・ノートルダム理事

・桜の聖母学院学院

司会のもと、河合恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

の保護者など約15

名が参加した。

今回の主題は「魅力は

長の開拓精神に続

く学校運営のみ

とした。

西経・氏(南山中学校・

高等学校校長)が「宗教

教育の基礎となるものー

神の国を伝える」と題し

て各自講演した。

高橋恒男

氏(日本カトリック学校

連合会副理

事長、コングレガシオン

浦和ルーテル学院

山の上学校

わが校の「ンボイントアピール

となりました。

時代に良質な体験をたぐ

りで大きくなることによ

つて培われる考え方

ます。しかし、一人ひ

ります。

ます。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。